

令和2年度事業報告書

社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会

目次

○ 総括	1
○ 事業の実施状況	
1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり	2
(1) バリアフリーやノーマライゼーションへの理解を深める福祉共育の支援	2
① 出前福祉共育講座の充実	2
② 福祉共育・ボランティア推進フォーラムの開催	2
③ 地区福祉まつり支援の充実	2
④ 宇都宮市民福祉の祭典支援の充実	3
⑤ やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実	3
(2) 気軽に参加・参画できるボランティア活動の充実	4
① 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進	4
(ア) 赤い羽根共同募金運動	4
(イ) 歳末たすけあい募金運動	4
② 歳末たすけあい事業配分委員会の開催	5
③ ボランティアセンター機能の充実	5
(ア) ボランティアの相談・登録・調整の充実	5
(イ) ボランティア団体への活動支援の推進	5
④ ボランティア養成の充実	6
(ア) ボランティア体験プログラム	6
(イ) ボランティア入門講座（ぼらんていあ Saturday）	6
(ウ) 学生ボランティアの養成（サマーボランティアスクール）	7
(エ) 災害福祉救援ボランティア養成講座	7
(オ) 災害福祉救援ボランティアフォローアップ講座	7
(カ) 傾聴ボランティア養成講座	7
(キ) 福祉共育サポーター養成講座	8
⑤ 善意銀行事業の推進	8
(ア) 金銭の預託	8
(イ) 金銭の払出し	8
(ウ) 物品の預託、払出し	8
⑥ 宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の推進	9
(3) 災害ボランティア活動の実施	9
① 災害時の連携体制の構築に向けた取組み	9
② 大規模災害に備えた備品の備蓄	10
③ 宇都宮市総合防災訓練への参加	10
(4) 幅広い世代が地域で活躍できる機会づくり	10
① ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の充実	10
② 食中毒・食品衛生講習会の開催	10
③ ふれあい・いきいきサロン事業の推進	11
④ ふれあい・いきいきサロン連絡会研修会の開催	11
⑤ 男性高齢者調理講習会事業への支援	12

2. 安心して暮らせる福祉の基盤づくり	12
(1) 地域福祉・ボランティアなどに関する情報発信の強化	12
① 広報紙「社協だより」の発行	12
② ホームページの充実	12
③ 福祉に関する情報発信機能の充実	12
④ 地区社協広報紙の発行助成	13
(2) 生活・福祉に関する相談支援体制の充実	13
① 日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施	13
② 法人後見事業の実施	13
③ 総合相談センター（心配ごと・悩みごと相談センター）事業の充実	14
④ 生活困窮者自立相談支援事業の実施	15
⑤ 地域包括支援センター事業の充実	15
(ア) 地域包括支援センター御本丸	15
(イ) 上河内地域包括支援センター	16
⑥ 障がい者生活支援センター事業の実施	16
(3) 地域福祉推進のための施設や人材、情報などの活用による福祉の基盤づくり	16
3. とともに支えあう地域社会づくり	17
(1) 身近な地域の中での市民相互の支えあい・助けあい活動の充実	17
① 福祉協力員制度の推進	17
② ブロック別福祉協力員表彰式・研修会の開催	18
③ 安心・安全情報キット配付事業の推進	18
④ ファミリーケアサービス事業の充実	18
⑤ 地域の子どもたちへの地域福祉事業の検討	19
⑥ 老人クラブ支援の充実	19
⑦ 敬老会開催の支援	19
⑧ 援護事業の実施	20
⑨ 社会福祉資金貸付事業	20
⑩ 各種事業に対する後援・共催	20
(2) 身近な地域の中での多様な居場所づくり	20
① 地域の福祉施設などを活用した市民の交流の促進	20
(3) 将来を見据えた地域における福祉の基盤づくりの支援	20
① 第4次宇都宮市地域福祉活動計画の推進	20
② 第4次宇都宮市地域福祉活動計画の効果的な推進に向けた「検討委員会」	
「作業部会」の開催	21
(ア) 検討委員会の開催	21
(イ) 作業部会の開催	21
③ 地域福祉事業運営委員会の開催	21
④ 地区社会福祉協議会支援の充実	21
⑤ 福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）の策定及び推進の支援	21
⑥ 地区社会福祉協議会会長研修会の開催	22

4. 在宅福祉サービス事業の推進	22
(1) 様々なニーズに応じたサービスの提供	22
①福祉機器(車いすなど)貸出事業の推進	22
②福祉理美容出張費補助サービス事業の推進	22
③ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進	22
④福祉機器・介護用品展示室の開設	23
5. 組織体制の強化	23
(1) 会務の運営	23
①理事会の開催	23
②監事会の開催	24
③評議員会の開催	24
④評議員選任・解任委員会の開催	24
(2) 苦情解決体制	24
①第三者委員会の開催	24
(3) 地区社会福祉協議会との連携強化	25
①地区社会福祉協議会会長会議の開催	25
②ブロック別地区社会福祉協議会会長会議の開催	25
(4) 職員の育成	25
①職員研修の実施	25
6. 自主財源の確保	26
(1) 社会福祉協議会会員制度の充実	26
(2) ぎんなん基金事業の充実	27
①ぎんなん基金の運用	27
②ぎんなん基金運営委員会の開催	27
③ぎんなん基金の「新たな助成対象事業」説明会の開催	27
④ぎんなん基金の効果的運用に向けた「検討委員会」「作業部会」の開催	28
(ア)検討部会の開催	28
(イ)作業部会の開催	28
7. 介護保険事業等の推進	29
(1) 訪問介護事業所の運営	29
①訪問介護事業	29
②介護予防訪問介護事業	29
(2) 居宅介護支援事業所の運営	29
①居宅介護支援事業	29
(3) 通所介護事業所の運営	30
①通所介護事業	30
②介護予防通所介護事業	30
(4) 障がい福祉サービス事業の運営	30
(5) 指定特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所の運営	30

8. 指定管理施設の管理・経営	31
(1) 総合福祉センターの管理・経営(2施設)	31
①宇都宮市総合福祉センター	31
②河内総合福祉センター	31
(2) 老人福祉センターの管理・経営(5施設)	32
①ことぶき会館	32
②ふれあい荘	32
③やすらぎ荘	33
④すこやか荘	33
⑤上河内	34
(3) 地域活動支援センターの管理・経営(3施設)	34
①雀の宮作業所	34
②若草作業所	35
③障がい者福祉センター	35
(ア)講座事業	35
(イ)地域活動支援センター事業	36
(4) 指定管理施設の管理・経営の充実	36
①事業経営委員会の開催	36
9. 受託事業の実施	36
(1) 宇都宮市からの受託事業	36
①障がい者生活支援センター事業の実施	36
②日中一時支援事業の実施	36
(ア)あっとほーむ・すずめ	36
(イ)あっとほーむ・うだい	36
(ウ)あっとほーむ・かわち	36
(エ)河内地域活動支援事業所	36
③障がい者福祉バス事業の実施	37
④各種奉仕員養成講座の実施	37
(ア)手話奉仕員養成講座	37
(イ)点訳奉仕員養成講座	37
(ウ)音訳奉仕員養成講座	37
⑤宇都宮市意思疎通支援事業(要約筆記者派遣事業)の実施	38
⑥宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施	38
⑦生活困窮者自立相談支援事業の実施	38
⑧地域包括支援センター事業の充実	38
(ア)地域包括支援センター御本丸	38
(イ)上河内地域包括支援センター	38
⑨移動支援事業の実施	38
(2) 栃木県社会福祉協議会からの受託事業	39
①生活福祉資金等貸付事業の実施	39
②日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施	39

〔総 括〕

今日の社会福祉を取り巻く環境は、人口減少や急速な少子高齢化、大規模災害の頻発、さらには社会的孤立を背景とした様々な生活・福祉課題が表面化する中で、既存の社会保障や福祉政策にとどまらない切れ目のない生活支援サービスや、地域社会の相互扶助機能のさらなる強化、さらには地域の特性や生活・福祉課題に応じた「地域共生社会」の構築に向けた取組みも引き続き推進されており、住民主体による地域福祉活動は、益々重要性を増しています。

一方で、新型コロナウイルス感染症は、新たな生活様式への対応はもとより、住民相互の支えあい・助けあい活動にも大きな影響を及ぼしました。

特に、本会がこれまで地区社会福祉協議会や宇都宮市、関係機関・団体とともに推進してきた、人と人のふれあいによる交流を基本とした「ふれあい・いきいきサロンの推進」や「福祉協力員による見守り・声かけ活動」、「ボランティア活動や福祉共育の推進」などは、大きな影響を受けました。

こうした中、令和2年度は、事業計画に基づいた各種事業の実施が困難な状況にありましたが、事業の目的や意義を改めて見つめ直しつつ、「地区社会福祉協議会の創意工夫による地域福祉活動の支援」や、「危機管理体制の強化に向けた取組み」のほか、宇都宮市との連携のもと、指定管理事業や受託事業においても、感染拡大防止措置を講じながら、適正に事業を実施してきました。

また、生活福祉資金貸付制度に基づく緊急小口資金や総合支援資金の貸付け、生活困窮者自立支援制度に基づく住居確保給付金の申請対応など、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市民の生活を守るため、本会職員が一丸となって取り組んできました。



▲ふれあい・いきいきサロン



▲福祉協力員による見守り活動



▲福祉のまちづくり計画(小地域福祉活動計画)推進運動

©2019年(平成31)年4月1日作成(ホームページからもダウンロードできます)

「社協会費」「各種募金」の使い道

(社協会費・日赤社資・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金)

◎「社協会費」の使い道(一側)～身近な地域の居場所づくりに～

誰もが気軽に高い交流できる「ふれあい・いきいきサロン」

「おもしろい いきいきサロン」ってなに?

- ・高齢者などの身近な場所に設置されている「居場所」を自由に利用できる交流の場のことだよ
- ・レクリエーションや趣味活動、季節の行事など、みんなで楽しながら、自然と楽しい時間を過ごしているんだよ

社会福祉法人 宇都宮市社会福祉協議会
〒320-0806 宇都宮市中央1丁目1番15号
電話：028(636)1215 FAX：028(638)9856

▲「社協会費」「各種募金」の使い道リーフレットの活用

〔事業の実施状況〕

1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

(1) バリアフリーやノーマライゼーションへの理解を深める福祉共育の支援

①出前福祉共育講座の充実

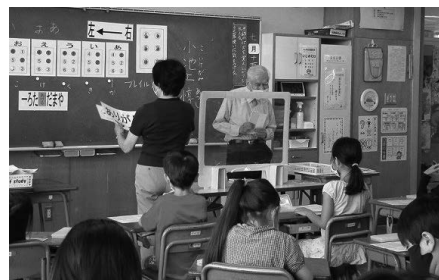
事業の目的	子どもから大人までお互いに学びあい、教えあい、共に育む福祉共育を推進し、やさしさをはぐくむ心の醸成を図る。
-------	---

取組み内容	実施回数	参加者
障がい当事者団体やボランティア（アシスタント）の協力を得て、講話や体験などを中心とした講座を開催した。	延 45 回（前年度比－45 回） <input type="radio"/> 手話体験 19 回 <input type="radio"/> アイマスク体験 0 回 <input type="radio"/> 点字体験 17 回 <input type="radio"/> 盲導犬育成講話 4 回 <input type="radio"/> 車いす介助体験 4 回 <input type="radio"/> ボランティア講話 0 回 <input type="radio"/> その他 1 回	延 1,528 人 （前年度比－1,945 人）

事業の様子



▲ 聴覚障がいの理解(手話体験)



▲ 視覚障がいの理解(点字体験)

②福祉共育・ボランティア推進フォーラムの開催

事業の目的	福祉共育を効果的に推進するため、人権・道徳教育の基盤づくりを行う。
-------	-----------------------------------

取組み内容	開催日
<input type="radio"/> 講話 <input type="radio"/> フィールドワーク <input type="radio"/> グループワーク	『中止』 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。

③地区福祉まつり支援の充実

事業の目的	地区社会福祉協議会が地域の関係機関などと協働で開催する「地区福祉まつり」の開催費用の一部を助成し、地域での仲間づくりや各団体の連携強化を図る。
-------	---

取組み内容
『中止』 新型コロナウイルス感染症の影響により、全地区で地区福祉まつりが中止となったため。

④宇都宮市民福祉の祭典支援の充実

事業の目的	すべての市民が参加し、交流する場を通して、福祉への理解と地域の連帯感を深め、安心して生活できる福祉社会の実現を目指す。
-------	---

取組み内容	開催日
市民やボランティアが主体となり開催する「第14回宇都宮市民福祉の祭典」の開催を支援し、市民相互の交流や福祉に対する理解を深める交流の場とした。	<p>『中止』</p> <p>「宇都宮市民福祉の祭典実行委員会」において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止とすることを決定した。</p> <p>令和2年11月23日（月・祝）</p> <p>※表彰のみ実施</p>

実施内容		
福祉功労者等の表彰 ≪被表彰者：120名≫（前年度比－36名）		
	被表彰者数	前年度比
実行委員長表彰（福祉書道展・絵画展表彰）	0名（※）	－45名
市長表彰	103名	＋8名
団体長表彰	17名	＋1名
※未実施		

⑤やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実

事業の目的	誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らすために必要なやさしさをはぐくむ心の醸成を図るため、市民・団体・事業者・行政と協力し、「心のバリアフリー」の啓発活動を通して、やさしさをはぐくむ福祉のまちづくりを推進する。
-------	--

取組み内容	実施方法
<p>コロナ禍における各団体での様々な取り組みや、障がいのある方が感じている不安や困りごとを知り、啓発することで「やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり」を推進する。</p> <p>○主 催 宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会</p> <p>○テーマ 『私たちにできる“やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり”～コロナ禍で何ができる？～』</p>	<p>○ 協議会各構成団体へのアンケート調査</p>

(2) 気軽に参加・参画できるボランティア活動の充実

①赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進

事業の目的	誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりへの市民の参加を促し、多様な民間の社会福祉活動を財政面から支援する仕組みとして、募金運動を展開する。
-------	--

(ア) 赤い羽根共同募金運動（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

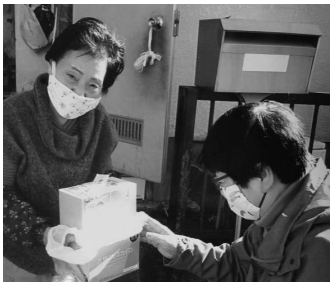
募金種別	実績額	備考
戸別募金	28,885,326 円	
法人募金	1,807,135 円	171 事業所
街頭募金（※）	0 円	0 団体
学校募金	2,108,710 円	146 校
職域募金	560,645 円	143 箇所
その他の募金	443,645 円	82 件
合計	33,805,461 円	

※『中止』
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。

(イ) 歳末たすけあい募金運動（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

募金種別	実績額	備考
戸別募金	19,658,162 円	
篤志募金	25,156 円	3 件
合計	19,683,318 円	

○配分事業

募金種別	取組み内容額	備考	事業の様子
施設配分	1,946,724 円	92 施設	 <p>▲地域における一人暮らし高齢者の見守り活動(地域福祉活動事業配分)</p>
団体配分	184,576 円	5 団体	
地域配分	4,503,760 円	34 地区	
地域福祉活動事業配分	9,373,165 円	39 地区	
合計	16,008,225 円		

②歳末たすけあい事業配分委員会の開催

開催日	議 題
令和 2 年 8 月 26 日(水)	(報告事項) ・令和元年度歳末たすけあい運動実績について ・令和元年度歳末たすけあい運動戸別募金実績について (協議事項) ・令和 2 年度歳末たすけあい運動配分事業実施要項について ・令和 2 年度及び令和 3 年度「歳末たすけあい募金配分事業」取扱いについて
令和 2 年 9 月 25 日(金)	(協議事項) ・令和 2 年度及び令和 3 年度「歳末たすけあい募金配分事業」取扱いについて ・令和 2 年度歳末たすけあい運動配分事業実施要項について ・令和 2 年度歳末たすけあい事業配分金申請方法について

③ボランティアセンター機能の充実

(総事業費 3,732,326 円)

事業の目的	市民の社会福祉に関する理解と関心を深めるとともに、近隣の市民が助けあうことを基本としたボランティア活動の推進を図る。
-------	--

(ア) ボランティアの相談・登録・調整の充実

各種相談・問合せ	ボランティア活動調整	ボランティア登録数
7,924 件 (前年度比 -4,458 件)	201 件 (前年度比 -452 件)	○団体 365 団体 11,960 人 (前年度比 -1 団体 +85 人) ○個人 46 人 (前年度比 -15 人)

(イ) ボランティア団体への活動支援の推進

○宇都宮ボランティア協会の活動支援

取組み内容
宇都宮ボランティア協会に助成金を交付し、活動を支援した。(助成額 250,000 円)

○ボランティア活動用機材の貸出

取組み内容	貸出件数	貸出物品
登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動に必要な機材の貸出を行い、活動を支援した。	157 件 (前年度比 -11 件)	パソコン 液晶プロジェクター スクリーンなど

○ボランティアルームの貸出

取組み内容	利用件数
登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動場所となる部屋の貸出を行い、活動を支援した。	延 117 団体 656 人 (前年度比 -100 団体 -1,007 人)

○ボランティアロッカーの貸出

取組み内容	利用団体数
登録しているボランティア団体を対象にロッカーの貸出を行い、活動を支援した。	利用団体 36 団体 (前年度比 ±0 件)

○対面朗読サービスの実施

取組み内容	実施回数など
視覚障がいのある方などに対して、書籍・新聞など本人が希望する文書を対面で読み上げるサービスを、音訳ボランティアの協力で実施した。	○実施回数 3 回 (前年度比-17 回) (利用者の希望により調整) ○利用者数 延 7 人 (前年度比-30 人) ○協力ボランティア数 延 6 人 (前年度比-34 人)

④ボランティア養成の充実

(ア) ボランティア体験プログラム

事業の目的	ボランティア活動への興味・関心から始まるきっかけづくりとして、ボランティア体験プログラムを実施する。
-------	--

取組み内容	実施回数	参加者	数量
市民などからお預かりしたエコキャップ (※) 整理の体験活動を実施するとともに、ボランティア同士の交流を図った。 ※令和3年3月31日をもって受入終了	10 回 (前年度比-19 回)	延べ 81 人 (前年度比-128 回)	8,390 kg (前年度比 -11,529kg)

(イ) ボランティア入門講座 (ぼらんていあ Saturday)

事業の目的	親子や社会人などが参加しやすい土曜日に開催し、福祉のまちづくりの一助となるボランティア活動の“きっかけづくり”とする。
-------	---

取組み内容	開催日	参加者
○聴覚障がいを学ぼう ○視覚障がいを学ぼう ○発達障がいを学ぼう ○精神障がいを学ぼう	(聴覚) 令和2年7月18日(土) (視覚) 令和2年8月1日(土) 『一部中止』 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。	延 24 人 (前年度比 -52 人)

事業の様子



▲視覚障がいを学ぼう(点字体験)



▲聴覚障がいを学ぼう(手話体験)

(ウ) 学生ボランティアの養成（サマーボランティアスクール）

事業の目的	高校生から大学生、専門学校生を対象に、ボランティア活動のきっかけをつくり、身近な地域でのボランティア活動の推進を図る。	
取組み内容	開催日	
○視覚障がい者による講話 ○手引き、アイマスク体験 ○料理作りによる交流 など	『中止』 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。	

(エ) 災害福祉救援ボランティア養成講座

事業の目的	過去の災害の記憶をふりかえり、減災意識の向上と減災活動の実践につなげるとともに、災害時のボランティアを養成する。	
取組み内容	開催日	
○講話（災害に対する心構え、など） ○身体、聴覚、視覚障がいの理解 ○実技（心肺蘇生法、AED）など	『中止』 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。	

(オ) 災害福祉救援ボランティアフォローアップ講座

事業の目的	災害福祉救援ボランティア養成講座の修了生を対象に、フォローアップ研修を実施し、災害ボランティアの知識と技術の向上を図る。	
取組み内容	開催日	
宇都宮市総合防災訓練に参加し、「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を宇都宮ボランティア協会と協働で実施。	『中止』 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。	

(カ) 傾聴ボランティア養成講座

事業の目的	高齢者が抱える不安や孤独に耳を傾け、孤独感を解消するための「傾聴活動」に必要な技能や資質を学ぶ。	
取組み内容	開催日	参加者
○講義（認知症の理解、傾聴の基本など） ○ロールプレイ（模擬演習）	令和2年9月 1日（火） 9月 8日（火） 9月 15日（火） 9月 29日（火） 10月 6日（火）	延 93人 （前年度比 +14人）

(キ) 福祉共育サポーター養成講座

事業の目的	出前福祉共育講座をより効果的に展開するため、福祉共育サポーターを養成する。
--------------	---------------------------------------

取組み内容	開催日
○講義 ○福祉共育の授業体験 など	『中止』 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。

⑤善意銀行事業の推進

事業の目的	市民などからの善意の金銭や物品の預託を受け、必要とするところに払出しを行い、市民相互の支えあい・助けあい活動を推進する。
--------------	--

(ア) 金銭の預託

項目	金額	前年度比	備考
前年度繰越金	2,916,399 円	+23,123 円	
預託金受入	693,389 円	+580,889 円	うち高齢者等地域活動支援ポイント事業参加者からの預託金 91,700 円
使用済み切手・書き損じはがき換金	67,536 円	-19,800 円	
プルタブ換金	21,318 円	-24,402 円	
入れ歯リサイクル換金	0 円	-22,659 円	
①預託合計	3,698,642 円	+537,151 円	

(イ) 金銭の払出し

項目	金額	前年度比	備考
預託金払出し	559,000 円	+314,000 円	4 件の払出し
事業費支出	135,882 円	+135,790 円	
②支出合計	694,882 円	+449,790 円	

次年度繰越金 3,003,760 円 (①預託合計 3,698,642 円 - ②事業費支出 694,882 円)

(ウ) 物品の預託、払出し

預 託	払出し
○収集物品 (使用済み切手、プルタブなど) 127 件 (前年度比 +4 件)	○収集物品 (使用済み切手、プルタブなど) を換金。
○その他物品 (車いす、タオル、衣類、除菌液、マスクなど) 66 件 (前年度比 +26 件)	○その他、児童福祉施設等に食品等を払出し。

⑥宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の推進

【宇都宮市からの受託事業（平成26年6月25日受託）】

（総事業費 28,401,178円）

事業の目的	高齢者が充実した高齢期を送ることができるよう、また、まちづくりの担い手として活躍できるよう、高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいづくりを促進する。
-------	--

取組み内容	登録団体など
高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいづくりを応援する事業の管理運営機関として、円滑かつ適正に事業を展開した。	○登録団体数 542団体（前年度比 -23団体） ○事業対象者数 13,751人（前年度比 -172人）

(3) 災害ボランティア活動の実施

①災害時の連携体制の構築に向けた取組み

事業の目的	新型コロナウイルス対策も踏まえた災害時の支援を円滑に行う連携体制を構築するため、宇都宮市、市社協、市内のボランティア・NPO団体等による連携支援を考えるため研修を行う。
-------	--

取組み内容	開催日
<p>○現状報告 災害時における「市と社協の役割」を知る</p> <p>○ロールプレイ 新型コロナウイルス対策も踏まえた災害ボランティアセンター運営体験</p> <p>○参加団体 宇都宮市 宇都宮市社会福祉協議会 宇都宮ボランティア協会 NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房 NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワーク 認定NPO 法人とちぎボランティアネットワーク NPO 法人トチギ環境未来基地 とちぎYMCA NPO 法人リスマイリー 栃木県社会福祉協議会 栃木県共同募金会 宇都宮大学学生ボランティア支援室</p>	<p>令和3年 2月4日（木）</p> <p>『延期』 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。</p>

②大規模災害に備えた備品の備蓄

事業の目的	新型コロナウイルス対策も踏まえた、大規模災害時における災害ボランティアセンターの適切な運営を図るため、関連資材等の備蓄を図る。
-------	---

取組み内容	活動実績
新型コロナウイルス対策も踏まえた、災害ボランティアセンターの適切な運営を図るため、宇都宮市と連携し、関連資材等の備蓄を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○衛生用品の備蓄（宇都宮市との連携） 非接触型体温計、手指アルコール、マスク等の購入・備蓄 ○災害時用携帯電話の購入

③宇都宮市総合防災訓練への参加

事業の目的	災害ボランティアセンターの迅速な設置とボランティアの機能的・効率的な受入を行うため、総合防災訓練に参加し訓練を行う。
-------	--

取組み内容	開催日
「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を宇都宮ボランティア協会、災害ボランティア養成講座修了生と協働で実施。	『中止』 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。

(4) 幅広い世代が地域で活躍できる機会づくり

①ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の充実

事業の目的	地域で暮らすひとり暮らし高齢者が生きがいをもって生活ができるよう、地域の中での仲間づくりや孤独感の解消、情報の提供を目的に会食会を実施する。
-------	--

取組み内容	参加者
<ul style="list-style-type: none"> ○助成 38 地区社協に 1 食あたり 400 円を助成した。 (助成総額 8,005,200 円) ○対象 おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者 ○実施回数 38 地区社協ごとに年 6~12 回実施 	38 地区 延べ 20,013 人 (前年度比 -2,936 人)

②食中毒・食品衛生講習会の開催

事業の目的	ふれあい会食事業に携わる福祉協力員や民生委員などを対象に、食中毒防止などに関する講習を行い、事業実施に伴う食の安全・安心を図る。
-------	--

取組み内容	開催日
<ul style="list-style-type: none"> ○講習「食中毒・食品衛生に関すること」 ○情報交換 	『中止』 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。 ※食中毒・食費衛生に関する資料を送付。

③ふれあい・いきいきサロン事業の推進

事業の目的	高齢者、障がい者及び子どもなどが身近な場所に気軽に集い、ふれあいを通して仲間づくりや生きがいつくりの輪を広げ、参加者の悩みや不安の解消を図る。
-------	---

取組み内容	サロン設置数
○ふれあい・いきいきサロン事業助成 1サロンあたり24,000円を上限に助成した。(毎年度助成) (助成総額7,470,000円)	39地区 316箇所に設置 (R3.3.31現在)
○ふれあい・いきいきサロン健康事業助成 参加者の健康増進のための器具を購入する際の経費として、25,000円を上限に助成した(1サロン1回限り) (助成総額293,960円)	

事業の様子



▲ 地域で開催されている「ふれあい・いきいきサロン」の様子 ▲

④ふれあい・いきいきサロン連絡会研修会の開催

事業の目的	ふれあい・いきいきサロン事業の効果的な運営とサロン相互の連携を促進する。
-------	--------------------------------------

開催日	事業の様子
<p style="text-align: center;">『中止』</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。</p> <p>※サロン運営に係る資料送付。アンケート調査および調査結果等を送付。</p>	<p style="text-align: center;">▲サロン活動事例と実態調査結果(表紙)</p>

⑤男性高齢者調理講習会事業への支援

事業の目的	男性高齢者の栄養面を考えた調理をふくめ、自立した生活と地域での仲間づくりや生きがいを持ち、いきいきとした生活が送れるよう支援する。
-------	---

取組み内容		
事業を実施した地区社会福祉協議会に対し開催費用の 1/2 を助成し、事業の開催を支援した。（助成総額 57,412 円）		
助成地区	実施回数	延参加者
昭和地区	22 回	177 人
篠井地区	1 回	10 人
合計	23 回	187 人
（前年度比 -326 人）		

2. 安心して暮らせる福祉の基盤づくり

(1) 地域福祉・ボランティアなどに関する情報発信の強化

①広報紙「社協だより」の発行

事業の目的	広報紙「社協だより」を発行することで福祉情報を広く発信し、市民の地域福祉事業（活動）への参画促進を図る。
-------	--

取組み内容	発行部数
○第 176 号 令和 2 年 4 月 20 日発行 ○第 177 号 令和 2 年 7 月 1 日発行 ○第 178 号 令和 2 年 10 月 1 日発行 ○第 179 号 令和 3 年 2 月 1 日発行	各号 21,000 部を発行

②ホームページの充実

事業の目的	「ホームページ」を活用して福祉情報を広く発信し、市民の地域福祉事業（活動）への参画促進を図る。
-------	---

取組み内容	閲覧数
○福祉に関する情報や、社協の事業などを発信 ○災害ボランティア情報の発信	月平均 約 4,000 件

③福祉に関する情報発信機能の充実

事業の目的	地域の福祉拠点として指定管理施設を活用し、福祉情報を広く発信し、市民の地域福祉事業（活動）への参画促進を図る。
-------	---

取組み内容	実施施設
・総合相談センター巡回相談の開設 ・各種地域福祉講座、講習会などの福祉情報の提供 ・車いすなどの福祉機器の貸出 など	○老人福祉センター 5 施設 ○地域活動支援センター 3 施設 ○総合福祉センター 2 施設

④地区社協広報紙の発行助成

事業の目的	地区社協が発行する広報紙 1 回分の発行を助成し、地域の住民に対する福祉情報の広報・啓発を行う。
-------	--

取組み内容	
広報紙を発行した地区社会福祉協議会に対し、発行にかかる費用の 1/2 を助成し、地域住民に対する福祉情報の広報・啓発を支援した。（助成総額 138,050 円） [助成地区] ○宝木地区 ○雀宮地区	

(2) 生活・福祉に関する相談支援体制の充実

①日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施

【栃木県社会福祉協議会からの受託事業（平成 11 年 10 月 1 日受託）】

（総事業費 10,380,500 円）

事業の目的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が十分でない方に対し、相談や福祉サービスの利用援助、金銭管理などのサービスを提供する。
-------	---

取組み内容																						
○担当地区	宇都宮市、上三川町																					
○一般相談	月～金曜日 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分																					
○契約者数	94 人（新規契約者 17 人） （前年度比：契約者数 -1 人、新規契約者数 +7 人）																					
○相談件数	2,797 件（前年度比 +1,183 件）																					
○相談者内訳	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 40%;">相談件数</th> <th style="width: 40%;">前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症高齢者</td> <td>1,050 件</td> <td>+517 件</td> </tr> <tr> <td>知的障がい者</td> <td>435 件</td> <td>+215 件</td> </tr> <tr> <td>精神障がい者</td> <td>1,178 件</td> <td>+404 件</td> </tr> <tr> <td>身体障がい者</td> <td>121 件</td> <td>+48 件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>13 件</td> <td>-1 件</td> </tr> <tr> <td>合計（延）</td> <td>2,797 件</td> <td>+1,183 件</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	相談件数	前年度比	認知症高齢者	1,050 件	+517 件	知的障がい者	435 件	+215 件	精神障がい者	1,178 件	+404 件	身体障がい者	121 件	+48 件	その他	13 件	-1 件	合計（延）	2,797 件	+1,183 件
区 分	相談件数	前年度比																				
認知症高齢者	1,050 件	+517 件																				
知的障がい者	435 件	+215 件																				
精神障がい者	1,178 件	+404 件																				
身体障がい者	121 件	+48 件																				
その他	13 件	-1 件																				
合計（延）	2,797 件	+1,183 件																				

②法人後見事業の実施

事業の目的	認知症や知的障がいなどの理由により、意思決定が困難な方の判断能力を補うため、法人として成年後見人等となり、財産管理、身上保護を行うことで利用者の権利を擁護する。
-------	--

取組み内容																
○法人後見受任件数	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 40%;">件数</th> <th style="width: 40%;">前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後見類型</td> <td>7 件</td> <td>+1 件（※）</td> </tr> <tr> <td>保佐類型</td> <td>0 件</td> <td>±0 件</td> </tr> <tr> <td>補助類型</td> <td>0 件</td> <td>-1 件（※）</td> </tr> <tr> <td>合計（延）</td> <td>7 件</td> <td>±0 件</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	件数	前年度比	後見類型	7 件	+1 件（※）	保佐類型	0 件	±0 件	補助類型	0 件	-1 件（※）	合計（延）	7 件	±0 件
区 分	件数	前年度比														
後見類型	7 件	+1 件（※）														
保佐類型	0 件	±0 件														
補助類型	0 件	-1 件（※）														
合計（延）	7 件	±0 件														
○相談件数	69 件（前年度比 +18 件）															
○法人後見運営委員会	令和 3 年 3 月 24 日（水）『書面開催』 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。															

※令和 3 年 1 月
補助から後
見に類型変

③総合相談センター（心配ごと・悩みごと相談センター）事業の充実

（総事業費 3,070,644 円）

事業の目的	市民が抱える各種の問題について広く相談に応じ、適切な助言指導を行うとともに、各相談機関との連携を図る。
-------	---

取組み内容

○相談内容と相談件数

種 別	相談件数	種 別	相談件数
生計問題	18 件	財産問題	8 件
年金問題	5 件	交通事故問題	1 件
職業・生業問題	6 件	児童福祉・母子保健問題	0 件
住宅問題	12 件	教育・青少年問題	1 件
家族問題	96 件	心身障がい者福祉問題	10 件
結婚問題	5 件	ひとり親福祉問題	3 件
離婚問題	1 件	高齢者福祉問題	7 件
健康・衛生問題	11 件	苦情問題	25 件
医療問題	11 件	その他	37 件
精神衛生問題	541 件	合計	803 件（前年度比 -188 件）
人権・法律問題	5 件		

※開設回数 延 241 回（うち特別相談日 13 回、巡回相談日 3 回）

○心配ごとや悩みごとの相談 月～金曜日

巡回相談（毎月各 1 回）	特別相談（毎月各 1 回）
第 1 木曜日：ことぶき会館 第 2 木曜日：ふれあい荘 第 3 木曜日：やすらぎ荘 第 4 木曜日：すこやか荘 第 1 火曜日：河内総合福祉センター	第 3 火曜日：弁護士の法律相談 第 3 水曜日：知的障がい者の生活相談 第 3 木曜日：更生や犯罪予防に関する相談 第 3 金曜日：こころの悩み相談

○生活福祉相談員研修会の開催

日 時	令和 3 年 3 月 6 日（土）
参加人数	19 名
研修テーマ	「ポラリス☆とちぎ」の機能と相談対応について
内 容	様々な状況にある相談者にきめ細かく対応できるよう、相談員の相談対応技術の向上を目的とし、研修会を開催した。

事業の様子



▲ 生活福祉相談員研修会の様子 ▲

④生活困窮者自立相談支援事業の実施

【宇都宮市からの受託事業（平成 26 年 6 月 25 日モデル事業受託、平成 27 年 4 月 1 日受託）】

（総事業費 52,145,145 円）

事業の目的	現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある方に対し、自立に向けた相談支援を行う。
-------	---

取組み内容		
○相談などの内訳		
区 分	件数など	前年度比
新規相談件数（新規受付実人数）	4,836 件	+3,975 件
自立に向けたプラン作成件数	429 件	+2 件
支援回数	12,206 件	+11,626 件
就労支援対象者数	179 人	+135 人
就職及び増収者数	82 人	+10 人
○住居確保給付金の申請対応（新型コロナウイルス感染症の影響による支給要件の緩和）		
新規申請件数	延支給世帯数	
439 件	2,250 世帯	

⑤地域包括支援センター事業の充実

（ア）地域包括支援センター御本丸

【宇都宮市からの受託事業（平成 18 年 4 月 1 日受託）】

（総事業費 33,053,410 円）

事業の目的	介護・福祉・健康の総合窓口として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援する。
-------	--

取組み内容	
○担当地区	中央地区、築瀬地区、城東地区
○総合相談支援事業	相談者数 延 416 人（前年度比 +31 人）
○地域ケア会議の開催	中央地区全体 1 回 築瀬地区全体 0 回（協議体へ移行） 城東地区全体 1 回 単位自治会ごと 11 回 個別会議 0 回
○介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業	介護予防支援プラン作成 延 1,284 件 （うち居宅介護支援事業所委託 708 件） 介護予防ケアマネジメントプラン作成 延 1,426 件 （うち居宅介護支援事業所委託 744 件）
○介護予防教室の開催	中央地区 1 コース 築瀬地区 1 コース 城東地区 1 コース
○家族介護教室の開催	『終活とは… 今から始める心豊かな老後のために』 延 3 回
○ひとり暮らし安心ネットワーク事業	安否確認 延 34 回（対象者：3 人）
○地域介護予防活動支援事業	対象グループなし



(イ) 上河内地域包括支援センター

【宇都宮市からの受託事業（平成 19 年 4 月 1 日受託）】

（総事業費 29,086,677 円）

事業の目的	介護・福祉・健康の総合窓口として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援する。
-------	--

取組み内容	
○担当地区	上河内地区
○総合相談支援事業	相談者数 延 193 人（前年度比 -17 人）
○地域ケア会議の開催	上河内地区全体 2 回 個別会議 1 回
○介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業	介護予防支援プラン作成 延 478 件 （うち居宅介護支援事業所委託 234 件） 介護予防ケアマネジメントプラン作成 延 309 件 （うち居宅介護支援事業所委託 149 件）
○介護予防教室の開催	上河内地区 34 回（小学校区ごとに 3 会場で実施） （新型コロナウイルス感染防止のため 1 回×2 会場中止）
○家族介護教室の開催	『終活講座～自分を見つめ、今をより良く、自分らしく生きるために～』 延 1 回
○ひとり暮らし安心ネットワーク事業	安否確認 延 5 回（対象者：1 人）
○地域介護予防活動支援事業	介護予防教室などの修了者に対する自主グループ支援 2 団体 延 2 回

▲ 介護予防教室（はつらつ教室）の様子 ▲

⑥障がい者生活支援センター事業の実施

【宇都宮市からの受託事業（平成 14 年 10 月 1 日受託）】

※令和 3 年 3 月 31 日をもって受託終了

（総事業費 17,875,385 円）

事業の目的	身体・知的・精神の障がい分野にかかわらず、地域で生活している障がい者や家族の相談に応じ、地域生活に必要な支援を行う。
-------	--

相談支援を利用している利用者数	相談件数	個別支援会議
延 1,011 人 （前年度比 +208 人）	延 2,236 件 （前年度比 +261 件）	26 回開催 （前年度比 -12 回）

(3) 地域福祉推進のための施設や人材、情報などの活用による福祉の基盤づくり

事業の目的	地域住民が主体となって、地域福祉に関する施設や人材、情報などを活用しながら、地域で包括的な支援ができるよう福祉の基盤づくりを進める。
-------	--

取組み内容	
地域包括ケアシステムの構築に向けて、行政や地域包括支援センター、地域の関係機関、団体、施設等と連携・協働し、市民に向けた説明会や勉強会の開催支援を行った。	

3. ともに支えあう地域社会づくり

(1) 身近な地域の中での市民相互の支えあい・助けあい活動の充実

① 福祉協力員制度の推進

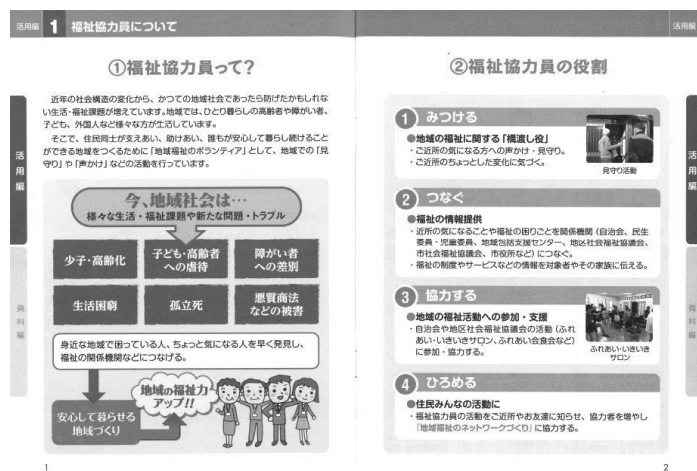
事業の目的	地域福祉及び在宅福祉の効率的運営と組織的活動を促進し、社会福祉の増進を図るため福祉協力員制度を推進する。
-------	--

取組み内容

小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、福祉協力員を委嘱するとともに、福祉協力員連絡会の支援及び活動費の助成を行った。(助成総額 4,288,000 円)

○ 地区別福祉協力員数

地区	人数	地区	人数	地区	人数
中央	44人	清原	96人	瑞穂野	44人
東	51人	桜	72人	雀宮	109人
西	45人	宝木	83人	五代若松原	39人
築瀬	14人	富士見	67人	御幸	36人
西原	53人	明保	33人	御幸ヶ原	44人
昭和	54人	城山	61人	篠井	12人
錦	37人	姿川	182人	富屋	17人
城東	39人	戸祭	68人	国本	63人
今泉	50人	細谷・上戸祭	72人	豊郷	159人
泉が丘	47人	陽南	67人	上河内	52人
峰	53人	緑が丘	69人	河内	172人
平石	22人	陽光	53人	合計 2,557人 (前年度比 +2人)	
石井	179人	宮の原	40人		
陽東	46人	横川	113人		



▲ 福祉協力員手帳

②ブロック別福祉協力員表彰式・研修会の開催

事業の目的	身近な地域における見守りや声かけ活動などの地域福祉活動を長年に渡り実践してきた福祉協力員に対し、その功績を称えとともに、福祉協力員の資質の向上と地区社協の地域福祉活動の活性化を図る。
-------	---

取組み内容	開催日
○福祉協力員表彰 20年表彰 受賞者 9地区 23名 10年表彰 受賞者 17地区 73名	○表彰式『中止』 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。 ※表彰状は個別に郵送。受賞者氏名を「社協だより」「ホームページ」に掲載。 ○研修会『中止』 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。

③安心・安全情報キット配付事業の推進

事業の目的	本人情報が即座に確認できる「キット」を配付することで、救急時における速やかな対応と見守り活動を促進し、安全・安心な日常生活が送れる地域社会を構築する。
-------	---

取組み内容	累計配付数
在宅の高齢者及び障がい者などに対し、「安心・安全情報キット」を配付した。 令和2年度配付本数 11地区 910本	39地区 延 22,006本

事業の様子



▲安心・安全情報キット

④ファミリーケアサービス事業の充実

(総事業費 2,756,075円)

事業の目的	日常生活を営むうえで支援が必要な高齢者や障がい者などの世帯(利用会員)に対し、協力会員が有償で家事援助などのサービスを提供する。
-------	--

サービス内容	会員数	利用実績
掃除、食事の準備、洗濯、買い物、外出時の付き添いなど	○利用会員 47人 (前年度比 -4人) ○協力会員 26人 (前年度比 +2人)	○利用件数 延 1,894件 (前年度比 -48件) ○利用時間 延 2,332時間 (前年度比 -204時間)

⑤地域の子どもたちへの地域福祉事業の検討

事業の目的	地域の中で子どもたちが安心・安全にいきいきと育つことができるよう、地域の子どもたちへの地域福祉事業について検討する。
-------	--



取組み内容
子ども関係機関等に対し、子どもを対象とする事業の情報収集を行った。

⑥老人クラブ支援の充実

事業の目的	市内の老人クラブの育成指導と連絡調整を図り、併せてクラブ活動の充実強化を推進し、高齢者福祉及び地域福祉の向上発展に寄与する。
-------	--

取組み内容	クラブ数・会員数
高齢者の介護予防や相互支援に取り組んでいる単位老人クラブや地区連絡協議会を支援し、市老人クラブ連合会組織の充実強化と事業支援を行った。	○クラブ数 293 クラブ ○会員数 16,071 人

主な事業
<ul style="list-style-type: none"> ○老人クラブ社会奉仕の日(年2回) 延 3,911 人 ○機関紙の発行(年2回) ○地区歩け歩け大会 6 地区 293 人 ○加入促進運動強化月間 1 月～3 月 ○女性研修会(雑巾づくり) ※作製された雑巾は、市内の児童養護施設へ寄附

事業の様子	
	
▲ 地区歩け歩け大会	▲ 女性委員会 雑巾寄附贈呈式

⑦敬老会開催の支援

事業の目的	高齢者を敬い、励まし、高齢者福祉に対する市民の理解や関わりを深めながら、市民全体で協力して活力ある長寿社会を築くため、敬老会の開催を支援する。
-------	---

取組み内容
<p>地区社会福祉協議会、宇都宮市、市社会福祉協議会の共催により開催した敬老会の開催費用の一部を助成した。</p> <p style="text-align: center;">39 地区社協へ助成 (助成総額 5,085,165 円)</p>

⑧ 援護事業の実施

事業の目的	所持金の紛失などにより、目的地まで行くことのできない行旅人に対し、旅費の貸付を行う。
-------	--

貸付限度額	貸付人数など
1人500円（1人1回限り）	○貸付人数 88人（前年度比+12人） ○貸付額合計 44,000円

⑨ 社会福祉資金貸付事業

事業の目的	市社協が独自に行う貸付事業の債権管理を行う。
-------	------------------------

取組み内容	
○完了件数	1件（前年度比 +1件）
○累積貸付件数	1件（前年度比 -1件）※現在は貸付を行わず、債権管理のみ。

⑩ 各種事業に対する後援・共催

事業の目的	各団体などが開催する事業に対し、後援・共催を行う。
-------	---------------------------

取組み内容	
○共催	0件（前年度比±0件）
○後援	10件（ボランティア団体など）（前年度比-21件）

(2) 身近な地域の中での多様な居場所づくり

① 地域の福祉施設などを活用した市民の交流の促進

事業の目的	地域の福祉施設などを活用し、地域住民が相互に交流を深める取組みを支援する。
-------	---------------------------------------

取組み内容
地域の福祉施設を利用し、施設の文化祭や祭りなどを実施し、地域住民が交流できる場の提供を行った。

(3) 将来を見据えた地域における福祉の基盤づくりの支援

① 第4次宇都宮市地域福祉活動計画の推進

事業の目的	地域に根差した福祉活動を推進するため、ともに支えあい助けあう“向こう三軒両隣型”の地域共生社会の構築を目指し、第4次宇都宮市地域福祉活動計画を推進する。
-------	--

取組み内容
第4次宇都宮市地域福祉活動計画を推進するため、進行管理を行うとともに、「地域福祉事業運営委員会」、「検討委員会」、「作業部会」を開催した。
○第4次宇都宮市地域福祉活動計画推進期間：平成30年度～令和4年度

②第4次宇都宮市地域福祉活動計画の効果的な推進に向けた「検討委員会」「作業部会」の開催

(ア) 検討委員会の開催

開催日	取組み内容
令和2年 10月13日(火)	○第4次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について
令和3年 2月9日(火)	○第4次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について

(イ) 作業部会の開催

開催日	取組み内容
令和2年 9月17日(木)	○第4次宇都宮市地域福祉活動計画について ○第4次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について
令和3年 1月19日(火) 『書面開催』	○第4次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について

③地域福祉事業運営委員会の開催

開催日	議題
令和2年 10月21日(水)	○協議事項 ・委員長の選任について ・第4次宇都宮市地域福祉活動計画 令和2年度の取組みについて
令和3年 2月25日(木) 『書面開催』	○議事 ・令和2年度第4次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況及び地域福祉・ボランティア事業報告について ・令和3年度第4次宇都宮市地域福祉活動計画の推進及び地域福祉・ボランティア事業計画(案)について

④地区社会福祉協議会支援の充実

事業の目的	地域の生活・福祉課題の把握や課題の解決方法、社会資源の点検や新たな社会資源の開発などを関係機関・団体などと連携・協働で行える体制づくりに努め、市民が主体的に地域福祉事業(活動)に参画できるよう支援する。
-------	---

取組み内容	配置数
地区担当職員をブロックごとに配置し、地区社会福祉協議会の活動支援を行った。	地区担当職員 6人配置

⑤福祉のまちづくり計画(小地域福祉活動計画)の策定及び推進の支援

事業の目的	地域の生活・福祉課題を解決し、市民の地域福祉活動への積極的な参画を図る。
-------	--------------------------------------

取組み内容
○未策定地区への支援 ・地域の関係機関・団体と連携しながら、福祉のまちづくり計画(小地域福祉活動計画)の策定に向けて、地区担当職員による支援を行った。
○策定済み地区への支援(瑞穂野地区、平石地区、河内地区) ・計画の推進、進行管理などの策定後の活動を支援した。

⑥地区社会福祉協議会会長研修会の開催

事業の目的	先駆的な活動の視察を通じ、地区社協が実施する地域福祉活動のさらなる活性化と地区社協間の交流を図る。
取組み内容	開催日
各地区社会福祉協議会における取組み事例発表会	『中止』 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため

4. 在宅福祉サービス事業の推進

(1) 様々なニーズに応じたサービスの提供

①福祉機器（車いすなど）貸出事業の推進

事業の目的	市社協が所有する車いすなどの福祉機器の貸出を行い、在宅福祉の推進を図る。	
取組み内容	貸出窓口	貸出件数
<p>一時的に車いすや歩行器などが必要になった市民に、貸し出しを行った。</p> <p>○貸出期間 原則として3か月</p> <p>○利用料 無料</p>	<p>○市内9か所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンター ・河内総合福祉センター ・ことぶき会館 ・ふれあい荘 ・やすらぎ荘 ・すこやか荘 ・上河内老人福祉センター ・雀の宮作業所 ・若草作業所 	<p>延 258 件 (前年度比 -180 件)</p>

②福祉理美容出張費補助サービス事業の推進

(総事業費 450,000 円)

事業の目的	理美容店に出向いて利用することが困難な65才以上の在宅の高齢者で理容を希望する者に、訪問理容出張サービスの出張費補助券を提供することで、在宅福祉の充実と向上を図る。	
申請者	利用件数(補助券)	補助券発行枚数
138人	300枚 (前年度比 +62枚)	646枚

③ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進

(総事業費 3,572,800 円)

事業の目的	ひとり暮らしの高齢者の家庭に乳酸菌飲料の配達を通じて訪問し、安否確認と孤独感の解消に努め、在宅福祉の向上を図る。		
利用者	配達本数	状況確認	緊急対応
延 4,320人 (月平均 360人)	延 51,040本 (前年度比 -239本)	86件 ※配達時に不在のため、 詳細確認	0件

④福祉機器・介護用品展示室の開設

事業の目的	介護を容易にするための福祉機器や介護用品などの情報を提供し、在宅福祉の向上を図る。
利用者数	
延 100 人（前年度比 -10 人）	

5. 組織体制の強化

(1) 会務の運営

①理事会の開催

開催日	議 題
令和 2 年 6 月 4 日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・会長職務の執行状況について ○議事 <ul style="list-style-type: none"> ・評議員選任候補者の推薦について ・令和元年度第 3 次収支補正予算（案）について ・令和元年度事業報告について ・令和元年度収支決算について ・評議員会の招集について
令和 2 年 7 月 21 日（火） 『書面議決』	<ul style="list-style-type: none"> ○議事 <ul style="list-style-type: none"> ・副会長の選任について ・評議員選任候補者の推薦について
令和 2 年 11 月 30 日（月） 『書面議決』	<ul style="list-style-type: none"> ○議事 <ul style="list-style-type: none"> ・評議員選任候補者の推薦について ・令和 2 年度第 1 次収支補正予算（案）について ・評議員会の招集について
令和 3 年 3 月 9 日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・会長職務の執行状況について ○議事 <ul style="list-style-type: none"> ・定款の一部改正（案）について ・事務局規程の一部改正（案）について ・経理規程の一部改正（案）について ・事業経営委員会規程の一部改正（案）について ・地域福祉事業運営委員会規程の一部改正（案）について ・ぎんなん基金運営委員会規程の一部改正（案）について ・評議員選任・解任委員会運営規程の一部改正（案）について ・就業規則の一部改正（案）について ・職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正（案）について ・令和 2 年度第 2 次収支補正予算（案）について ・令和 3 年度事業計画（案）について ・令和 3 年度収支予算（案）について ・令和 3 年度役員等賠償責任保険契約の締結について ・評議員会の招集について ・理事の選任候補者（案）について

②監事会の開催

開催日	議 題
令和2年5月20日(水)	○監査 ・令和元年度事業執行及び会計処理について

③評議員会の開催

開催日	議 題
令和2年7月7日(火) 『書面議決』	○議事 ・理事の選任について ・令和元年度第3次収支補正予算(案)について ・令和元年度事業報告について ・令和元年度収支決算について
令和2年12月24日(水) 『書面議決』	○議事 ・令和2年度第1次収支補正予算(案)について
令和3年3月24日(水) 『書面議決』	○議事 ・理事の選任について ・令和2年度第2次収支補正予算(案)について ・令和3年度事業計画(案)について ・令和3年度収支予算(案)について

④評議員選任・解任委員会の開催

開催日	議 題
令和2年6月22日(月) 『書面議決』	○議事 ・評議員の選任について
令和2年8月6日(木) 『書面議決』	○議事 ・評議員の選任について
令和2年12月11日(金) 『書面議決』	○議事 ・評議員の選任について

(2) 苦情解決体制

①第三者委員会の開催

事業の目的	市社協が提供する福祉サービスへの苦情を適切に解決するとともに、福祉サービスに対する利用者の満足度を高め、利用者個人の権利の擁護と、サービス提供者としての信頼及び適正性の確保を図る。
-------	--

開催日	議 題
令和3年 2月10日(水) ～2月16日(火) 『書面開催』	○議事 ・宇都宮市社会福祉協議会における苦情解決制度の概要について ・宇都宮市社会福祉協議会事業概要について ・令和元年度苦情などの状況について 〔苦情件数〕 13件(前年度比±0件) ・職員の対応・接遇に関すること 5件 ・福祉サービスに関すること 0件 ・施設の管理・利用に関すること 6件 ・その他 2件

(3) 地区社会福祉協議会との連携強化

①地区社会福祉協議会会長会議の開催

開催日	議 題
令和 2 年 4 月 14 日 (火) 『書面開催』	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度宇都宮市社会福祉協議会「会員会費募集」について ・「栃木県知事表彰」「栃木県共同募金会会長表彰」被表彰候補者の推薦について ・ぎんなん基金の「新たな充当対象事業」検討の方向性について ・令和 2 年度「各種申請書等」の提出について
令和 2 年 6 月 15 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度日赤社資募集運動の実施について ・令和 2 年度敬老会助成金の交付申請について
令和 2 年 10 月 2 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度地域歳末たすけあい募金配分申請について

②ブロック別地区社会福祉協議会会長会議の開催

開催日
『中止』 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため

(4) 職員の育成

①職員研修の実施

事業の目的	職員育成方針に基づき、職員のスキルアップと職業人としての人間力及び組織力の向上を図る。
-------	---

開催日	内 容	講 師
令和 2 年 7 月 20 日 (月) 8 月 20 日 (木)	『リスクマネジメント研修』 <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントの必要性 ・気をつけるべきポイント ・解決、未然に防ぐための心得 など 	(有) エファ 代表取締役 菊地理恵氏

6. 自主財源の確保

(1) 社会福祉協議会会員制度の充実

事業の目的	市社協の理念や活動に賛同し、地域福祉の推進を財政的に支援していただける市民や企業・団体などの会員の充実に努める。
-------	--

取組み内容

地区社会福祉協議会や自治会の協力を得て、市社協事業の普及啓発と、地域福祉事業を推進するための会員会費（自主財源）の確保に努めた。

①普通会員

地区		会員数	会費（円）	地区		会員数	会費（円）
中央ブロック	中央	1,402	420,600	南部ブロック	陽南	2,696	809,000
	東	1,374	419,360		緑が丘	2,448	752,850
	西	1,705	511,500		陽光	1,134	340,310
	築瀬	1,708	512,400		宮の原	1,593	478,050
	西原	1,357	408,000		横川	5,076	1,622,810
	昭和	1,351	405,300		瑞穂野	1,714	514,460
	錦	1,564	429,950		雀宮	9,182	1,888,800
東部ブロック	城東	1,614	484,245	五代若松原	1,328	398,500	
	今泉	1,384	415,400	御幸	1,326	397,900	
	泉が丘	1,800	540,100	御幸ヶ原	1,681	504,350	
	峰	1,929	578,831	篠井	754	226,400	
	平石	805	241,500	富屋	805	241,700	
	石井	3,078	923,400	国本	3,595	1,078,600	
	陽東	1,678	503,523	豊郷	9,235	2,770,580	
西部ブロック	清原	7,342	2,202,700	上河内	1,954	586,200	
	桜	1,540	486,900	河内	7,471	2,242,150	
	宝木	3,622	1,087,400	合計	107,264	31,459,964	
	富士見	3,543	1,063,600				
	明保	1,327	398,200				
	城山	3,109	932,725				
	姿川	5,639	1,691,720				
	戸祭	2,971	889,100				
細谷・上戸祭	3,536	1,060,850					

②特別会員

会員数	会費（円）
54	81,000

③賛助会員

会員数	会費（円）
187	2,000,000

④団体会員

会員数	会費（円）
79	425,000

(2) ぎんなん基金事業の充実

① ぎんなん基金の運用

事業の目的	社会福祉を振興するための財源として、ぎんなん基金の安全な管理と効果的な運用を図る。
-------	---

取組み内容		
○寄附の状況		
	種別	寄附金額
	個人	5,430,906円
	企業	1,700円
	団体	497,686円
	募金箱	378,452円
	合計	6,308,744円
	前年度比	-906,171円
		-159件
○募金箱の設置		
市内のスーパー、銀行など90箇所に設置（前年度比 -4箇所）		

② ぎんなん基金運営委員会の開催

開催日	議 題
令和2年 10月21日（水）	(報告事項) ○ぎんなん基金の「新たな助成対象事業」検討の経緯について (協議事項) ○ぎんなん基金の「新たな助成対象事業の基本的な考え方」について ○ぎんなん基金の「新たな助成対象事業」について ○宇都宮市社会福祉協議会ぎんなん基金運用の取扱いについて
令和3年 2月25日（木） 『書面開催』	(報告事項) ○令和2年度ぎんなん基金の状況について ○令和2年度ぎんなん基金の取組み実績及び取組み課題について (協議事項) ○令和3年度ぎんなん基金の取組み（案）について

③ ぎんなん基金の「新たな助成対象事業」説明会の開催

開催日	対象地区	会 場
令和2年 11月11日（水）	中央ブロック	総合コミュニティーセンター・大集会室A B
11月12日（木）	北部ブロック	富屋地区市民センター・ホール1
11月17日（火）	西部ブロック	城山地区市民センター・ホール
11月18日（水）	東部ブロック	平石地区市民センター・学習室1
11月20日（金）	南部ブロック	雀宮地区市民センター・ホール
議 題		
(説明事項) ○ぎんなん基金の「新たな助成対象事業」検討の経緯について ○ぎんなん基金の「新たな助成対象事業の基本的な考え方」について ○ぎんなん基金の「新たな助成対象事業」の概要について		

④ぎんなん基金の効果的運用に向けた「検討部会」「作業部会」の開催

(ア) 検討部会の開催

開催日	取組み内容
令和2年 8月12日(水) 9月2日(水)	○ぎんなん基金の「新たな充当対象事業」(案)の検討

(イ) 作業部会の開催

開催日	議 題
令和2年 4月23日(木) 8月7日(金) 8月18日(火) 8月25日(火)	○ぎんなん基金の「新たな充当対象事業」(素案)の作成

7. 介護保険事業等の推進

(1) 訪問介護事業所の運営

(総事業費 27,007,580円)

①訪問介護事業

事業の目的	要介護者の心身の特性を踏まえて、入浴、排せつ、食事の介護、その他の生活全般にわたる援助を行う。
-------	---

介護度別利用者内訳 (延人数、延利用回数)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
144人	158人	61人	17人	33人	413人
1,332回	1,991回	499回	152回	264回	4,238回
(前年度比					-4人 -267回)

②介護予防訪問介護事業

事業の目的	要支援者の心身の特性を踏まえて、入浴、排せつ、食事の介護、その他の生活全般にわたる援助を行う。
-------	---

介護度別利用者内訳 (延人数、延利用回数)

要支援1	要支援2	事業対象者(※)	合計
258人	404人	69人	731人
912回	1,815回	327回	3,054回
(前年度比			+203人 -194回)

※地域包括支援センターが行う基本チェックリストにより、生活機能の低下が見られ、要支援となる恐れがある高齢者。

(2) 居宅介護支援事業所の運営

(総事業費 9,440,647円)

①居宅介護支援事業

事業の目的	要介護者の心身の特性を踏まえて、居宅介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、その計画に基づく介護サービスが適正かつ円滑に提供させるようその進行を管理する。
-------	---

介護度別居宅サービス計画作成内訳 (延件数)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
107件	234件	163件	218件	90件
要介護4	要介護5	事業対象者(※)	合計	
103件	62件	6件	983件	
(前年度比				-46件)

※地域包括支援センターが行う基本チェックリストにより、生活機能の低下が見られ、要支援となる恐れがある高齢者。

(3) 通所介護事業所の運営

(総事業費 20,213,809 円)

①通所介護事業 (河内事業所で実施)

事業の目的	要介護者などの心身の特性を踏まえて、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。
-------	---

介護度別利用者内訳 (延人数、延利用回数)					
要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
114 人	47 人	16 人	23 人	0 人	200 人
1,099 回	393 回	201 回	222 回	0 回	1,915 回
(前年度比 +52 人					+509 回)

②介護予防通所介護事業の運営 (河内事業所で実施)

事業の目的	要支援者などの心身の特性を踏まえて、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。
-------	---

介護度別利用者内訳 (延人数、延利用回数)			
要支援 1	要支援 2	事業対象者 (※)	合計
0 人	33 人	0 人	33 人
0 回	265 回	0 回	265 回
(前年度比 -8 人 +2 回)			

※地域包括支援センターが行う基本チェックリストにより、生活機能の低下が見られ、要支援となる恐れがある高齢者。

(4) 障がい福祉サービス事業の運営

事業の目的	利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事の介護、調理、洗濯及び掃除などの家事、生活などに関する相談及び助言並びに外出時における移動の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。
-------	---

居宅介護 (ホームヘルプサービス) (延人数、延利用回数)		生活介護 (デイサービス) (延人数、延利用回数)	
○利用者数	188 人	○利用者数	22 人
○利用回数	1,961 回	○利用回数	310 回
(前年度比 -8 人、+209 回)		(前年度比 -2 人、+26 回)	

(5) 指定特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所の運営

事業の目的	障がい児・者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、サービスなどの利用計画・障害児利用支援計画の作成やモニタリング、相談支援を実施する。
-------	---

計画作成		モニタリング	
○指定特定相談支援	59 件	○指定特定相談支援	240 件
○指定障害児相談支援	11 件	○指定障害児相談支援	18 件
合計	70 件	合計	258 件
(前年度比 -42 件)		(前年度比 +74 件)	

8. 指定管理施設の管理・経営

(1) 総合福祉センターの管理・経営（2施設）

（指定管理期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日）

事業の目的	児童、障がい者及び高齢者などの福祉の増進並びに市民の活動による地域福祉の推進を図るための施設として、福祉に関する社会奉仕活動の推進や社会福祉団体の育成、団体の活動の場を提供する。
-------	---

①宇都宮市総合福祉センター

（総事業費 76,029,000円）

利用状況	
○開館日数	307日（前年度比 -13日）
○会議室など	延 79,955人（前年度比 +24,251人）（※） 延 4,304団体（前年度比 +528団体）（※）
○健康器具	延 2,692人（前年度比 -1,169人）
<p>※新型コロナウイルス感染症を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付および生活困窮者自立支援制度における住居確保給付金の申請に対応するため、常設窓口として会議室を使用することによって、利用状況が前年度比増となる。</p>	

②河内総合福祉センター

（総事業費 58,172,151円）

利用状況	
○開館日数	295日（前年度比 +4日）
○会議室など	（団体室・ボランティア室・朗読室含む） 延 5,615人（前年度比 -4,587人） 延 332団体（前年度比 -181団体）
○大広間など	14,598人（前年度比 -8,410人）
浴室	60歳以上 9,289人 60歳未満 58人 障がい者 961人 子ども 4人
○健康器具	延 6,061人（前年度比 -6,130人）
○送迎バス	延 91人（前年度比 -1,139人）

(2) 老人福祉センターの管理・経営 (5施設)

(指定管理期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日)

(総事業費 217,532,959円)

事業の目的	高齢者が健康で明るい生活を営むために必要な各種相談や健康の維持増進、教養の向上及びレクリエーションなどの便宜を総合的に図る。
--------------	--

①ことぶき会館

利用状況		送迎バス利用者
○開館日数	258日 (前年度比-32日)	延 2,054人
○利用者数	延 41,329人 (前年度比-35,643人) (1日平均160人)	
健康相談など		教養講座
○血压測定	延 1人	○講座数 12講座
○健康相談	延 24人	○開講回数 延 182回
○応急処置	延 0人	○参加者数 延 1,991人
○健康器具利用	延 9,767人	
年間行事など		
○ことぶき文化祭 『中止』※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。		
○ことぶき健康みんなの大学 健康講話、健康チェック、肩こり・腰痛体操教室の開催 14回		
○ふれあい荘の漏水改修工事に伴い、ふれあい荘送迎バスを活用して利用者を送迎した。 運行日 55日 利用者数 36人		

②ふれあい荘

利用状況		送迎バス利用者
○開館日数	148日 (前年度比 -144日)	延 547人
○利用者数	延 15,341人 (前年度比 -30,368人) (1日平均103人)	
健康相談など		教養講座
○血压測定	延 95人	○講座数 10講座
○健康相談	延 107人	○開講回数 延 76回
○応急処置	延 7人	○参加者数 延 705人
○健康器具利用	延 6,424人	
年間行事など		
○ふれあい文化祭 『中止』(※)		
○花見演芸大会 『中止』(※)		
○納涼演芸大会 『中止』(※)		
○健康講話 『中止』(※)		
○囲碁将棋自主講座交流大会 『中止』(※)		
○ボランティア団体などの受入 (映画鑑賞会) 『中止』(※)		
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。		
○漏水改修工事に伴う臨時休館 令和2年11月2日～令和3年3月22日 ※令和3年3月23日から再開 (入浴設備を除く)		

③やすらぎ荘

利用状況		送迎バス利用者
○開館日数	256日（前年度比－35日）	延 1,638人
○利用者数	延 20,127人（前年度比－21,163人） （1日平均 78人）	
健康相談など		教養講座
○血压測定	延 273人	○講座数 13講座
○健康相談	延 274人	○開講回数 延 207回
○応急処置	延 3人	○参加者数 延 1,787人
○健康器具利用	延 11,236人	
年間行事など		
○やすらぎ祭 『中止』（※） ○健康講話 『中止』（※） ○敬老の日 地域中学校演奏会及び交流会 『中止』（※） ○地域小学校との交流会 『中止』（※） ○ボランティア団体などの受入（映画鑑賞会） 『中止』（※） ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。		

④すこやか荘

利用状況		送迎バス利用者
○開館日数	258日（前年度比－34日）	延 2,516人
○利用者数	延 27,823人（前年度比－31,520人） （1日平均 107人）	
健康相談など		教養講座
○血压測定	延 1人	○講座数 12講座
○健康相談	延 29人	○開講回数 延 165回
○応急処置	延 18人	○参加者数 延 1,493人
○健康器具利用	延 12,134人	
年間行事など		
○すこやか荘文化祭 『中止』（※） ○健康講話 『中止』（※） ○地域幼稚園との世代間交流事業 『中止』（※） ○ボランティア団体などの受入（軽音楽演奏会） 『中止』（※） ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。		

【参考】

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う臨時休館（5館）
令和2年4月10日～5月25日
- 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴う原則休館（5館）
令和3年1月17日～2月21日

⑤上河内老人福祉センター

利用状況			
○開館日数	215日（前年度比－32日）		
○利用者数	延 3,025人（前年度比－4,192人） （1日平均 14人）		
健康相談など	教養講座		
○血圧測定	延 153人	○講座数	13講座
○健康相談	延 153人	○開講回数	延 76回
○応急処置	延 0人	○参加者数	延 478人
○健康器具利用	延 369人		
年間行事など			
○上河内老人福祉センターまつり 『中止』（※）			
○健康講話 『中止』（※）			
○地域の小学校との世代間交流事業 『中止』（※）			
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため。			



(3) 地域活動支援センターの管理・経営（3施設）

（指定管理期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日）



事業の目的	障がいがあるため雇用されることが困難な方に、通所による生産活動の機会を提供するほか、日常生活訓練や社会適応訓練、職業指導訓練などを行い、障がい者の社会参加と自立の推進を図る。
-------	---

①雀の宮作業所

（総事業費 雀の宮作業所・若草作業所 49,199,555円）

開所日数	利用登録者数	利用者数
243日 （前年度比 +3日）	18人 （前年度比 +1人）	延 3,093人 （前年度比+38人）
生産活動の機会の提供		
電機部品の組立、菓子箱の組立、文書の封筒詰め、シール貼り、各種製品箱詰め、袋詰め、ダンボール製品組立、ダイレクトメール封入作業 など		
社会参加・自立促進		
○野外レクリエーション、社会適応訓練、クリスマス会、新年の集いの開催 ○うつつのみやふれあい文化祭などへの参加		
事業の様子		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 作業の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 新年の集い</p> </div> </div>		

②若草作業所



開所日数	利用登録者数	利用者数
243日 (前年度比 +3日)	12人 (前年度比 ±0人)	延 2,559人 (前年度比 +54人)
生産活動の機会の提供		
玩具部品の組立、菓子箱の組立、文書の封筒詰め、ラベルシール貼り、各種製品箱詰め、袋詰め、ダンボール製品組立、取扱説明書封入作業 など		
社会参加・自立促進		
○野外レクリエーション、社会適応訓練、クリスマス会、新年の集い、わくわく☆工作会、お楽しみ会食会の開催 ○うつのみやふれあい文化祭などへの参加		
事業の様子		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 作業の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 社会適応訓練(買い物訓練)</p> </div> </div>		

③障がい者福祉センター

(総事業費 37,836,750円)

事業の目的	利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者を通わせ、機能訓練や社会適応訓練の機会を提供し、地域生活支援の促進を図る。
--------------	--

(ア) 講座事業

利用状況	講座
○利用登録者数 99人 (前年度比 -7人)	○講座数 15講座 ○開講回数 246回 ○参加者数 延 993人
年間行事など	
<p>○作品展の開催 (うつのみやふれあい文化祭、市民プラザ、市役所市民ホール)</p> <p>○わくわくアートコンクール in うつのみや (宇都宮市長賞1人、審査委員特別賞4人、わく・わく賞2人の受賞) 以下の事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。</p> <p>○地域活動支援センターとの交流会 (センター交流会・クリスマス会) 『中止』</p> <p>○宇都宮市民福祉の祭典への参加および作品展示 『中止』</p> <p>○松が峰ギャラリーでの作品展示 『中止』 ○短期講座 (スマートフォン入門講座) 『中止』</p>	
講座の様子	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 書道講座</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 絵画講座</p> </div> </div>	

(イ) 地域活動支援センター事業

利用状況		医療生活相談	
○利用登録者数	11人 (前年度比 -2人)	○相談状況	
		・開催回数	1回 (前年度比 -2回)
		・利用者数	1人 (前年度比 -2人)
年間行事など			
○音楽療法及びレクリエーション (誕生会・節分会・ひな祭り) の実施			
以下の事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。			
○野外療育訓練の開催 『中止』			
○講座事業との交流会 (センター交流会・クリスマス会) 『中止』			
○宇都宮市民福祉の祭典への参加 『中止』			
○外食訓練、料理実習の実施 『中止』			

(4) 指定管理施設の管理・経営の充実

①事業経営委員会の開催

開催日	議 題
令和2年 10月16日 (金)	(報告事項) ・令和2年度指定管理施設及び介護保険事業などの経営状況について ・市受託事業 障がい者福祉バスの運行事業について (協議事項) ・令和3年度指定管理施設及び介護保険事業などの取組みについて

9. 受託事業の実施

(1) 宇都宮市からの受託事業

①障がい者生活支援センター事業の実施 (平成14年10月1日受託)

(総事業費 17,875,385円)

※前掲：16P参照

②日中一時支援事業の実施

(ア) あっとほーむ・すずめ (放課後支援型) (平成16年4月1日受託)

(イ) あっとほーむ・うだい (放課後支援型) (平成19年7月12日受託)

(ウ) あっとほーむ・かわち (放課後支援型) (平成22年4月1日受託)

(エ) 河内地域活動支援事業所 (日中支援型) (平成19年5月24日受託)

(総事業費 14,597,523円)

事業の目的	障がい者などの日中における活動の場を提供し、見守りを実施する。
-------	---------------------------------

施設別取組み内容				
施設名	区分	開所日数	定員	利用者延人数
あっとほーむ・すずめ	放課後支援型	244日	10人	718人
あっとほーむ・うだい	放課後支援型	244日	10人	1,087人
あっとほーむ・かわち	放課後支援型	244日	10人	536人
河内地域活動支援事業所	日中支援型	244日	5人	549人
合 計				2,890人
(前年度比 -366人)				

③障がい者福祉バス事業の実施（昭和54年5月1日受託）

※令和3年3月31日をもって受託終了

（総事業費 9,416,255円）

事業の目的	障がい者の社会参加活動を推進する。
-------	-------------------

稼働日数	利用団体数	利用人数
39日 (前年度比 -124日)	延 39団体 (前年度比 -124団体)	延 593人 (前年度比 -2,803人)

④各種奉仕員養成講座の実施

（総事業費 1,812,470円）

（ア）手話奉仕員養成講座

事業の目的	聴覚に障がいのある方に対し、手話によるコミュニケーション支援を行う手話奉仕員を養成する。
-------	--

実施コース	内 容	開催日	受講人数
入門過程 基礎課程	手話の基礎知識と実技 手話の応用知識と実技	令和2年6月 ～令和3年3月 毎週水曜日 (全40回)	延 341人 (前年度比 -20人)

（イ）点訳奉仕員養成講座

事業の目的	視覚に障がいのある方に対し、本などの印刷物を点字にして、点字による情報提供を行う点訳奉仕員を養成する。
-------	---

実施コース	内 容	開催日	受講人数
入門過程 中級課程	点訳の基礎知識と実技 点訳の応用知識と実技	令和2年6月 ～令和3年3月 毎週火曜日 (全40回)	延 157人 (前年度比 +57人)

（ウ）音訳奉仕員養成講座

事業の目的	視覚に障がいのある方に対し、本や印刷物を朗読し、テープなどに録音して、音声による情報提供を行う音訳奉仕員を養成する。
-------	--

実施コース	内 容	開催日	受講人数
初級過程 中級課程	音訳の基礎知識と実技 音訳の応用知識と実技	令和2年6月 ～令和3年3月 毎週水曜日 (全35回)	延 279人 (前年度比 +102人)

⑤宇都宮市意思疎通支援事業（要約筆記者派遣事業）の実施

（平成 18 年 10 月 1 日受託）

（総事業費 288,130 円）

事業の目的	聴覚障がい者などを対象に、日常生活を営む上でコミュニケーションを必要とするときに、要約筆記者を派遣し、社会参加を円滑にする。
-------	--

派遣依頼数	活動筆記者数
20 件 (前年度比 -20 件)	29 人 (前年度比 -52 人)

⑥宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施（平成 26 年 6 月 25 日受託）

（総事業費 28,401,178 円）

※前掲：9P 参照

⑦生活困窮者自立相談支援事業の実施（平成 26 年 6 月 25 日モデル事業受託）

（平成 27 年 4 月 1 日）

（総事業費 52,145,145 円）

※前掲：15P 参照

⑧地域包括支援センター事業の充実

（ア）地域包括支援センター御本丸（平成 18 年 4 月 1 日受託）

（総事業費 33,053,410 円）

※前掲：15P 参照

（イ）上河内地域包括支援センター（平成 19 年 4 月 1 日受託）

（総事業費 29,086,677 円）

※前掲：16P 参照

⑨移動支援事業の実施（平成 18 年 10 月 1 日受託）

事業の目的	屋外での移動が困難な障がいのある方の外出や余暇活動などの社会参加の際に、訪問介護員が外出の支援を行う。
-------	---

利用状況
利用者数 0 人 (前年度比 ±0 人)

(2) 栃木県社会福祉協議会からの受託事業

①生活福祉資金等貸付事業の実施

(総事業費 49,701,960円)

事業の目的	低所得者世帯などに対して、低金利または無利子での資金の申請と必要な援助指導を行い、経済的自立や生活意欲の向上・社会参加の促進を図る。
-------	--

取組み内容

○相談件数 延 19,610 件 (前年度比 +17,885 件)

○申請状況など

資金種別		申請件数
生活福祉資金	総合支援資金	19 件
	福祉資金 (福祉費)	9 件
	福祉資金 (緊急小口資金)	1 件
	教育支援資金	6 件
	不動産担保型生活資金	0 件
臨時特例つなぎ資金		2 件
合 計		37 件 (前年度比 -29 件)

○新型コロナウイルス感染症を踏まえた生活福祉資金貸付制度における特例貸付

※令和 2 年 3 月 25 日事業開始

資金種別		申請件数
生活福祉資金	緊急小口資金	5,278 件

資金種別		申請件数
生活福祉資金	総合支援資金 (初回)	3,872 件
	総合支援資金 (延長)	2,045 件
	総合支援資金 (再貸付)	1,903 件
合 計		7,820 件

②日常生活自立支援事業「あすてらす事業」の実施

【栃木県社会福祉協議会からの受託事業 (平成 11 年 10 月 1 日受託)】

(総事業費 10,380,500円)

※前掲：13P 参照

